

令和6年度 第2号

令和6年5月2日(木)発行

学校教育目標:「ひと」とともに生きる生徒の育成

学校 Web ページ



植竹中だより



目指す生徒像:気づき力を高め「元気に登校」「笑顔で下校」 さいたま市立植竹中学校

〒331-0804 さいたま市北区土呂町352 TEL 048(663)2115 FAX 048(665)6377

凡事徹底

校長 上 続 昌 司

早いもので、植竹中学校に赴任して1ヶ月が経ちました。久しぶりに満開の桜が咲き誇る中、始業式、入学式を無事に行うことができ一安心といったところです。この1ヶ月の植竹中学校は、朝早くから、元気なあいさつが飛び交う校庭や、体育館の部活動、朝の会の後、丁寧に一生懸命にきれいにしようと取り組む掃除の時間、「よろしくお願いします」で始まり集中して取り組む授業、にぎやかに仲間と笑顔で話す休み時間等、一日の学校の様子を見ていると、新しい年度の始まりが順調にスタートできたことがよく分かります。そして、圧巻だったのは4月12日に行った避難訓練で、1,000人以上の全校生徒が、僅か5分ほどで校庭に集合完了した姿でした。先ず初めに集合完了したのが3年生です。さすが最上級生と思わせてくれるその姿を誇らしく思います。その後、2年生、1年生も素早く整列、点呼を行い、避難することができていました。さらに驚いたのは、整列し終わった後の態度です。先生たちが次の準備をしている時、誰一人しゃべることなく静かに待つことができていました。避難してきて大切なのは、先ず素早く避難場所に移動し人数を確認することですが、その後次にどんな行動が必要なのか、どんな指示があるのか確認することが重要です。静かに待つことができていれば、素早く次の行動に移すことができ、2次被害を避けることが可能となります。私は、講評の中で「凡事徹底」の重要性を伝えました。普段の生活の中で、当たり前のようにできている。実はその当たり前が難しくもあり、最も重要です。人が話している時は、その人を見て話を聞くこと。素早くきれいに整列すること。状況に応じて静かに待つこと。そして、今、何をすべきか考え、行動することができるよう心掛け生活することで、成長を続けることができます。他にも「あいさつ」「返事」等、普段から心がけ、当たり前のことを当たり前に見える人になってほしいと願います。

人は「いざっ」という時、どうしても焦ってしまうものです。一瞬頭の中が真っ白になったことは、皆さんも経験があると思います。何をすべきか分かっていたはずなのに、思うように動けない経験。冷静になることは、なかなか難しいことではありますが、行動しなければもっと大変なことになってしまいます。そんな時のために、普段から「当たり前を当たり前に見えるように」が大切ですね。